

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.96

■ 第3回カイゼンベースWebセミナー「生産ラインにおける指標管理の基礎と活用のポイント」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、昨年度より、新型コロナウイルス感染症対策として、講座のWeb化に取り組んでおります。そこで、会員企業から希望の多かった若手・中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、若手・中堅技術者向けWebセミナーをカイゼンベース社に依頼して、順次実施して行きます。

今回は、第3回目として、生産ラインにおける指標管理の基礎と活用のポイントを、自動車工学関連講座として、Webセミナーを下記のとおり実施しました。

■ 日時：令和3年9月30日（木）13時30分～15時30分

■ 場所：web形式

■ 参加者：43社/77名

本日のスケジュール

時間割	項目	担当
13:30 - 13:35	5 開会宣言 次世代自動車センター	望月様
13:35 - 14:21	46 第1章：指標管理の目的と位置付け 第2章：人時生産性とは	関原
14:21 - 14:27	6 休憩	
14:27 - 15:18	51 第3章：設備稼働率とは 第4章：見える化のポイント	関原
15:18 - 15:25	7 eラーニング紹介 カイゼンベース	松原
15:25 - 15:30	5 閉会の辞 次世代自動車センター	山村様
15:30	終了	

～ プロセスを管理して結果をつくる！～
指標管理の基礎と運用のポイント
第1章：指標管理の目的と位置付け

ものづくりコンサルタント カイ先生
アシスタント あおいさん

本講義の構成
第1章：指標管理の目的と位置付け
第2章：人時生産性とは
第3章：設備稼働率とは
第4章：見える化のポイント

自動車工学関連講座
第3回 若手・中堅技術者向けWebセミナー

「生産ラインにおける
指標管理の基礎と活用のポイント」

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
次世代自動車センター

第1章：指標管理の目的と位置付け

1. 指標の定義 身近な指標

GDP（国内総生産）
消費者物価指数
日経平均株価

第4章：見える化のポイント

2. 見える化の注意点

● せっかく見える化をしても・・・

【参加者の声】

- 指標管理が会社において、どのような意味を持っているのか。また、指標管理の中でも様々な見方があることを知り、参考になった。
- 製造現場で出たロスを改善するためには、指標を適切に管理し、現状と目標とのギャップを把握することが重要だと学ぶことができた。
- 指標を見える化し、問題意識を持つことで現場の改善につながる事を学んだ。
- 現在 SE として主に大規模工場向け自動化システム納入の職務についているが、「指標管理」について改めて自身の管理手法を見直す事ができ、今後の職場体質改善を図る為の良いきっかけとなった。
- 設備稼働率について、実際の生産現場での「ロス」について勉強になり、顧客の設備稼働率改善に向けてのソリューション企画立案などに役立つと感じた。
- 普段使っている指標の他に、たくさんの分類がある事や目的に応じて使い分ける必要性について大変参考になった。
- 指標とは、単体では意味をなさない事。基準と比較して変化を数値で把握し、更に良くするためのツールだという事が参考になった。
- 日々の業務において、現場の状態や業務の状況等、必要な情報を「見える化」し、誰もが様々な変化に気付ける仕組みを作っていくことが重要だと感じた。
- 指標管理を知る事によって会社の上位方針からの目標展開が示せ、現場で誰もが改善に取り組める仕組みが参考になった。
- 指標管理の指標とはシグナルデータや出来高推移表などライン内にもあるので、この講座を聞いて、より意識して指標をモノサシとして考えて行動しようと思った。
- 生産工場で働く人間ではないが、指標の管理や生産性など通常業務でも参考になる部分がありよかった。仕事の効率を上げるためにも今回学んだことを参考に自分の仕事量を振り返りたい。